かわなかのぶひろ

映像の地下水脈 #21

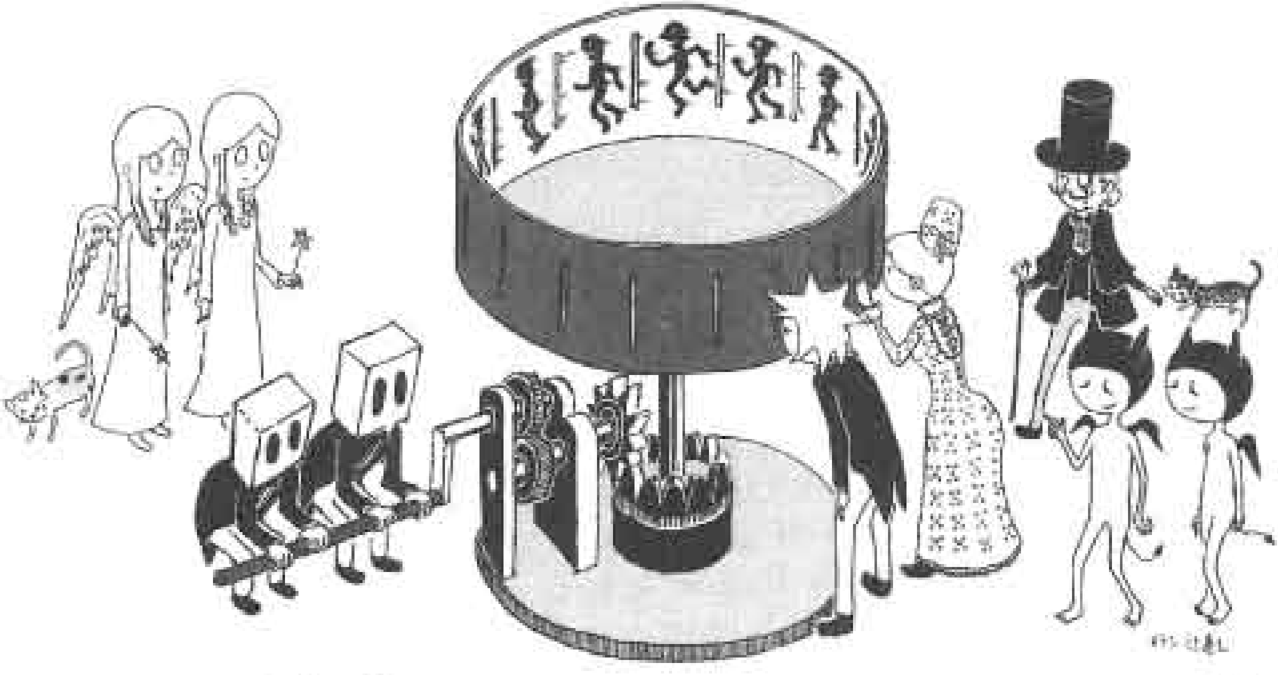
このごろは映像の制作人口は飛躍的に増大したものの、制作した作品を自ら上映しようという気運は低迷しつつあります。自主上映というリスキーなことを手がけるよりも、不特定多数の観客にウエブで公開すればより効率的と考える時代になりつつあるようですね。

スクリーンを通じて人と人が出会い、繋がり合うコミュニケーションのかたちが明らかに変化しつつあることへのささやかな抵抗として開催してきた<映像の地下水脈>新春第一弾は、少し趣を変えてお届けいたします…。

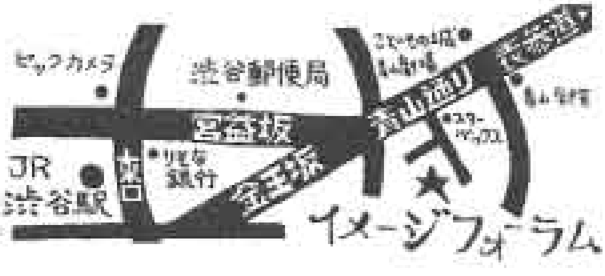
◎新春特別講座◎

〜映画はどこからきたか〜

西ドイツといわれた1980年代のドイツで、実験映画作家で映画前史にかかわる研究者ヴェルナー・ネケスが、膨大なコレクションを題材に、フランクフルト映画博物館オープンのための動くカタログを手がけていた…。
『フィルム・ビフォー・フィルム』との出会いを中心にトークと作品上映を行ないます。



♠会場：渋谷イメージフォーラム
3F寺山修司。
♦日時：2月26日（土）19:00開映
♥会費：1000yen
♣問い合わせ：イメージフォーラム/渋谷区渋谷2-10-2/03-5766-0116
（上映後 フリーコーナーでの懇談会を開催いたします）



商業映画の世界でも観客動員のみを目論んだコンテンツ映画が、イレギュラーな企画を駆逐し、観客を均質的な「製品」世界へ誘導するようになりつつあります。そんな時流への反撥と、効率のみが大手をふるう世相への抵抗から、画家が絵を描くように、詩人が詩を書くように、作曲家が曲を作るように、個人の表現としての映像の原点へ遡行するこの試みを応援、吹聴いただければ幸いです。